

「てんかん」でお悩みになっていませんか？

「てんかん」についてアドバイスをいただきました。

「てんかんと診断されたら」

今回は、てんかんと診断された場合の注意点について、少しお話し致します。

一. 診断名について

診断名が、「てんかん」止まりでは心配です。

「〇〇てんかん」とか「□□症候群」といった細分類まで行かなくても、「特発性部分てんかん」「症候性部分てんかん」「特発性全般てんかん」「症候性全般てんかん」の四分類の段階までは、担当医に確認してください。

これが決まっていますと、発作が止まりにくいのか否か、合併症を心配する必要があるのか否か、服薬は一生続くのか否かなど、治療の全体的な流れが見えてきます。

二. 発作型について

抗てんかん薬は、発作型に応じて、決まります。

外来診察の発作症状説明時に「面倒くさがって」「いつもの発作」と言っている限り、適切な薬剤は見つからないと覚悟してください。

三. 優先順位について

ご自身が、発作抑制を優先されるのか、副作用回避を重視されるのか、明確になさってください。

抗てんかん薬は、発作抑制が100%保証されている薬剤ではありません。

主作用も副作用も、個人差が大きく、投与してみないと、効き目や相性は判りません。

患者さんの価値観が明確化されていますと、担当医はそれに応じて、投薬の順番を決めることができます。

四. 規則正しい服薬について

発作が治まらない間は、服薬時刻を固定するなど、規則正しい服薬に心がけてください。

特に、ガバベンチン（ガバベン）、レベチラセタム（イーケプラ）など作用持続時間が短い薬剤は繊細です。

発作が年単位で治まってきたら、多少ずれても、大勢に影響はしませんが、治療初期は頑張りてください。

五. 概日リズムについて

概日リズムとは、睡眠・覚醒の生活リズムです。

抗てんかん薬は、概日リズムが安定して初めて効果を発揮する薬剤です。

発作が止まらず、生活リズムが安定するのではなく、睡眠サイクルが規則正しいと、抗てんかん薬が効果的に作用して、発作が止まるのです。

平日と休日の起床時刻に極端な差がある方は、発作抑制が非常に困難になります。

六. 患者さんご家族・担当医の協議で

患者さんは、発作を起こしています。多くの場合、ご自身の症状は判りません。

ご家族は、発作を目撃しますが、患者さんの価値観も、患者さんが感じている副作用も、当然、患者さんとは別人格です。明確には把握出来ません。

担当医は、患者さんの発作を直接目撃することは難しく、最近ご家族の動画撮影で情報収集はしやすくなりましたが、また、薬の主作用や副作用の知識はあっても、患者さんの反応には個人差があり、正確に予測することはできません。

てんかん診療とは、この三者間の情報交換を繰り返し、診察のたびに、診断の修正・処方調整などの試行錯誤を行い、小まめに軌道修正を繰り返す作業なのです。

てんかん診療は、長期戦です。最初から、正直な思いをお出しになるのが、適切な治療を受けられるための秘訣だと思います。



なかむらクリニック院長
ナカムラ ヒトシ
中村 仁 先生

昭和60年3月岐阜大学大学院医学研究科修了
昭和55年5月岐阜大学病院小児科脳波外来担当
昭和62年4月～平成3年3月国立てんかんセンター勤務
国立療養所長良病院てんかん専門外来担当を経て
平成20年5月12日てんかん診療専門「なかむらクリニック」開院
(てんかん診療歴30年)

Q これまでいろいろな抗てんかん薬を試してきましたが、薬が増えるいっぽうで効く薬が見つかりません。もう発作抑制はあきらめるしかないのでしょうか？

A 抗てんかん薬は、多剤併用になってきますと、お薬同士の相互作用で効き目が十分に発揮されないことがあります。時には、効果を期待して新たに追加した抗てんかん薬が「発作誘発剤」として作用していることもあります。そのため、抗てんかん薬処方を適正化するには、効く薬を入れることよりも、効かない薬を処方から抜くことが大切になります。この「処方のお掃除」は、専門クリニックでなければ難しい作業です。また、ここ数年、新世代の抗てんかん薬と呼ばれる新薬が毎年のように登場しています。処方をしっかりお掃除して、新薬を正しく使えば、まだまだあきらめるのは早いと考えます。

なかむらクリニック院長 / 中村 仁

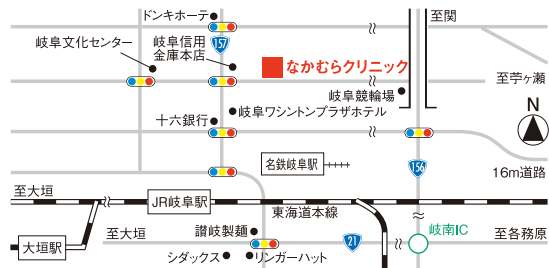
てんかんは個人差の大きい病気です。患者様、お一人お一人にじっくりと時間をかけて、診断・治療しております。一度ご相談ください。

	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00～12:00	○	○	○	/	○	○	/
午後 2:00～5:00	○	○	○	/	○	○	/

【休診日】木曜・日曜・祝日 ※土曜日午後も診療しておりますので、学校やお仕事を休まずに受診可能です。

●保険診療 ●デジタル脳波計完備

・お子様からお年寄りまでご利用いただけます。紹介状は、必ずしも必要ではありません。



小児科・脳神経内科

てんかん診療専門

てんかん診療のお作法

検索

なかむらクリニック

TEL.058-264-0860 完全予約制 〒500-8167 岐阜市東金宝町1丁目5番地 サンアド・テシガワラビル3F P有り(4台)



名鉄岐阜駅より
徒歩7分